

ゴミ減らそ〜!



●ダンボールの巻その3

- 一般ゴミ、産廃、粗大ゴミなどの収集
 - 側溝、排水管、下水道管などの清掃
 - グリストラップ清掃
 - 各種排水管の詰まり除去や清掃
 - 浄化槽保守点検
 - 廃家電収集
 - 資源物収集（中間処理）
- 見積無料—



ダンボールを資源に出す時、ビニールテープはきれいに剥がさなくちゃならない。ホッチキスの芯のおばけみたいなでっかい芯が付いている箱もあって取るのに一苦労。

果物などは密閉するのは良くないから大型ホッチキスで留めてあるのだろう。クラフトテープは破れたり濡れたりするといけなからか。時々「このテープはリサイクルできます」とテープに書かれてあると何だか嬉しくなる。

ギフト箱も中身の箱はダンボール、蓋は紙、中のしきりはプラスチックだったりするものもある。

知人は、資源に出すため家じゅうのゴミを分別。資源物かゴミか判らないのもあって時間かかる〜と、ぼやいていた。

お父さんも子供も一緒に分別するといいかも!



これでご飯を炊いていただきます。



縁側に腰掛けてチリンチリンと言う音がすると（アイスクャンデーだ!）と楽しみだった子供の頃。



今思えば環境に優しかった昭和

びんの種類（色・形）の多さには驚く。小瓶のシールは、一晩水につけておくときれいに剥がれる。瓶のラベルは剥がして出さなくてもいいのだが、すーっと剥がれるシールは有難い。紙とプラのシールではコストも関係するのだから。分別には、手間と時間が結構かかるのだ。メーカーは、消費者が分別するのに優しい方法を考えてくれなものかと思う。

昔は飲料水やアルコール、食材など瓶入りの商品が今ほど溢れてなかったし、お駄賃ももらえるのが嬉しくて祖父から頼まれると両手にしっかき一升瓶抱えて近くの酒屋さんに焼酎を買いに行ったものだ。彼岸に出来た団子を近くの親戚に持って行くのも重箱に風呂敷包みで使い捨てではなかった。

昭和には「エコ」が溢れていた!

未来は他人事ではない
2003年に発行された「大江戸エコロジー事情」の結びにこう書いてある。『今生きている私たちは、重い責任を、10年後、20年後、30年後の人々に対して背負っている。今ここで、今後進むべき方向をどう判断するかによって、21世紀の運命が決まるのだ。私たちは、「これからどうなるのだろう」という受け身ではなく、日本をどんな国にしたいかを自分自身の責任で考えながら「そのためにはどうすべきか」と考える立場に置かれている。未来は他人事ではない』と。

鳩山首相は、表明した温室効果ガス25%削減に伴う家計負担の再試算をするようだが私たちにとって、余りにも重い負担にならないようお願いしたい。

酒や醤油は 量り売りの頃も

買い物にはエコバック
を持参しましょう!
ベネトンエコバック
各色販売中
1枚500円



ペットボトルのキャップの有効利用
&
命を救うキャンペーン展開中!



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

〒883-0034 日向市大字富高字荒平5961-1
電話(0982)53-3109・IP電話 050-3612-9204
FAX(0982)52-0130

メールアドレス clean@cyber.ocn.ne.jp
URL http://www.clean-hyuga.com/

